

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

常盤台地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

常盤台地域ケアプラザの4連合町内会地区（上星川地区・常盤台地区・中央東部地区・和田地区）における共通課題は、①更なる地域ネットワークづくりの強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援③災害を見据えた日頃からの防災活動④地域におけるボランティア等新たな人材の発掘、等が挙げられます。

以下、各地域の取組内容及び課題です。

<常盤台地区連合町内会地区>

① 救急情報カプセル

健康に関する情報や緊急連絡先を記載した「救急情報シート」を家族の一人ひとりに作成してもらい、筒状のカプセルに入れて冷蔵庫で保管する「救急情報カプセル」の配布が終了し、3年が経過しました。今後は情報シートの更新を含めた更なるカプセル活用に向けたフォローが課題となっています。

② ときわカフェ

地域の方が気軽に集まれる場づくりとして、平成23年度の地区懇談会で発案されたカフェをケアプラザ多目的ホールにて毎月1回開催しました。今後は高齢者だけでなく幅広い世代の交流の場となるよう工夫していきます。

③ ワークショップ

横浜国立大学建築計画研究室とケアプラザ・コミュニティハウスが協働で、「常盤台地域における老後も安心して住み続けられるまちづくり」をテーマにワークショップを実施しました。この取組は平成20年度から継続して実施しており、平成27年度は、「空き部屋・ホームシェアを活用して、学生が見守る暮らしについて考える」をテーマに横浜国立大学の学生とともに空き部屋の活用について考えました。並行して連合町内会主催の地域支え合いマップ作りのサポートを学生とケアプラザが行いました。説明会を6月～9月にかけて3回開催し、全自治会の班長が出席しています。

④ ほっとなまちづくり

第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画を作成しました。地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)と地域の代表者による地区懇談会を経て原案を作成し、連合町内会に承認いただきました。

<上星川地区連合町内会地区>

① ほっとするサロン上星川

地域の方が気軽に集まれる場づくりとして、平成25年度に立ち上げました。毎月3箇所の開催場所をローテーションして実施し、年間延べ358名が参加しました。

② ミニデイ・サロン・上星川

奇数月に開催。手話を取り入れた歌やゲーム、体操等を行いました。年間延べ67名が参加しました。

③ 配食サービス

月2回、一人暮らし高齢者の方を対象に手作りのお弁当を配達しました。利用者は30人程度で、調理と運転のボランティアがそれぞれ関わっています。

④ きらきらぼし(子育てサロン)

0～3歳子ども・保護者を対象に、月1回開催しました。

⑤ ほっとなまちづくり

第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画を作成しました。地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)と地域の方々による地区懇談会(6月開催、40名以上参加)を経て原案を作成し、地域代表の皆様に承認いただきました。

<中央東部地区連合町内会地区>

① 救命情報カプセル

地区社協会長の発案により、平成23年度にいち早く検討・導入されました。実際に救急搬送の際、活用された事例も報告されています。

② 独居高齢者食事会

「茜会」を鎌谷自治会館にて月1回実施。最近は参加者が減っている。岡沢町からの参加者の送迎が出来ず課題となっています。

③ ミニデイ・サロン

「笑話会」「ゆうゆうサロン」「ふれあい鎌谷」「桜台エンジェルス」を各地域の自治会館にて各々月1回実施しました。

④ 老人クラブ

「松風会」「竹葉会」「梅香会」他毎月実施しました。

⑤ 子育てサロン

「ふふ」「ペンギン」「Qピー」他毎月実施しました。

⑥ 認知症講演会

地区社会福祉協議会の協力を得て開催。自治会町内会長・民生委員児童委員・保健活動推進員など約50名が参加。常盤台地域ケアプラザも企画段階から協力いたしました。

⑦ ほっとなまちづくり

第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画を作成しました。地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)と地域の方々による地区懇談会(9回開催)を経て原案を作成し、地域代表の皆様に承認いただきました。

<和田地区連合町内会地区>

① ミニデイサービス

月1回第3木曜日に実施。保健活動推進員、民生委員、ボランティアが協力して歌・手工芸・ゲーム・お茶会等を実施しました。高齢者の閉じこもり予防につながり、毎回10数名程度参加しました。

② ふれあい食事サービス

昭和61年から毎月月1回第4水曜日に実施。利用者は20～30名。徒歩での参加が困難な方に送迎も行いました。

③ 配食サービス

平成8年より月2回第2・4金曜日に実施。利用者は現在55名、70歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象にしています。

④ ボランティア募集

新たな担い手を確保し活動を広げるための取組として、ボランティア募集を行いました。

⑤ ほっとなまちづくり

第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画を作成しました。地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)と地域の方々による地区懇談会(6月開催「明日の和田を語ろう」)を経て原案を作成し、地域代表の皆様に承認いただきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設であることを踏まえて、ご利用者が安心・安全にご利用いただけるような施設管理に努めてまいりました。

具体的には、空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検については、専門の事業者へ委託して定められた内容の点検を行い、各事業者との連絡調整により確実な現状把握を行いました。また建築基準法にともなう点検を実施し、その結果を区に報告し、適切な保守・修繕の計画を行いました。

館内の清掃は事業者により各月の休館日に行い、その他毎日の館内点検・清掃等は職員が行いました。植栽等は職員・ボランティアによって保全管理しました。

事業者による外庭部分の大規模剪定を6月に実施しました。

また、建物北壁の亀裂修繕工事を11月に実施しました。

1階デイサービスフロアの清掃は休館日前日である第4日曜日に行いました。清掃日を分けることで、各々の清掃により時間をかけることができました。

イ 効率的な運営への取組について

(1) ケアプラザの運営費は税金から支出される指定管理料、そして介護保険料と税金を財源とした介護報酬および利用者からの利用料金から成り立っています。いずれも利用者が満足を得るサービスの対価であることを、職員一同肝に銘ずる必要があります。そのために、利用者の満足度を引き上げる計画性をもった事業執行に努めました。

(2) 施設利用者の満足度を上げるためには、地域・利用者のニーズに根ざした事業展開を図る必要があるため、地域活動、地域包括、居宅介護支援、通所介護の各部門とも適切な年間事業計画のもとでの事業遂行に努めました。

(3) 利用料金収支の健全、運営費の適切な運用には、事業計画に基づいた適切な職員配置によって、人件費の節約を図ることが求められます。専門的に配置されている職員が自らの職域のみに埋没することなく、プラザ全体の協働意識の中で専門性を発揮できるようにするとともに、その補佐をすることで効率的な事業執行を進めるために適時非常勤職員の雇用をしました。また、施設管理や通所介護部門においては、ボランティアの協力のもとで経費節減を図りました。

(4) 施設の省エネを実行するため、国の省エネ法に基づく「管理標準」を策定しました。マニュアルを定めて、しっかりと省エネ対策に取り組み、さらに取組状況を把握することでより効率的な対策を図りました。

(5) 施設・設備管理においては、確実な保守点検による早い対処によって、長期の経年使用ができるよう努めました。修繕については区と協議の上、適切に対応しました。

(6) 経費節減によって得た利用料金収入は、新たな事業計画の資金とし、また安定した雇用を確保するための財源として有効活用しました。

(7) 地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら全体の事務作業の効率化に努めました。

(8) 建物管理、保守等の経費を合築施設のコミュニティハウスと適切に按分負担し、負担の効率化を図りました。

ウ 苦情受付体制について

本地域ケアプラザで実施している事業毎に苦情相談窓口を設置しており、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました（ご意見が容易にできるよう意見箱を設置しています）。寄せられた苦情については、施設内の事故・苦情解決委員会において施設としての対応を検討し、回答を意見箱の上に掲示しました。

改善できるものについては、できるだけ早く改めるように努めました。さらに、多様な視点からの意見に耳を傾けるため、第三者委員会を開催し、苦情解決に向けて適切な体制を整備しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

本プラザでは、消防計画に基づいた貸し館利用者・通所介護利用者の参加による消防訓練を年2回実施しました。避難通報訓練の他、消火訓練、救命講習等を適宜組み合わせ実施しました。

また、防災委員会を定期開催して防災課題の解決に努めました。

館内には、消火設備（消火器）位置や避難経路等を掲示して来館者にお知らせしています。

また、コミュニティハウスと共同防火管理協議会を設置して、協議のうえ適切な防火管理を行うとともに、共同で消防訓練を実施しました。

夜間の防犯・防火管理については、専門業者に委託して適切な管理を行っています。

また、横浜市より特別避難場所としての指定を受けているため、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、食料、水、毛布、紙オムツ等の備蓄を進めました。

防犯対策としては、職員による日々の開館・閉館時間の記録を行っており、職員不在時間の把握に努めました。建物警備については、閉館時間帯に異変が起きた場合には警備会社が警備員を派遣し、地域ケアプラザ責任者に電話報告を行うよう体制を整備しました。また、職員による日々の点検・清掃記録を実施しました。

オ 事故防止への取組について

日々の職員及び利用者の方々の気づきによって建物内の危険箇所を把握し、改善に努めました。

万が一事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行いました。

日頃からケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、マニュアル内容を周知するとともに、ヒヤリ、ハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行いました。

事故予防・事故対応マニュアルは、事務所に誰でも閲覧できるようにしています。

また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、介護保険事業の場合には、「介護保険事業者における事故発生時の報告取扱い要領」に従い発生後速やかに区、市に報告しました。

特に本年度は3月に来館者の転倒事故が発生したことを受けて、より安全な施設運営を目指して、9月から土足利用を解禁しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(1) 個人情報の保護について

- ①横浜市個人情報保護条例、法人マニュアルをもとに年1回以上職員に対しての研修を行い、また職員の採用毎に研修を行って個人情報漏えい防止チェックシートを記入してもらうとともに、個人情報保護に関する誓約書の提出を求めました。
- ②電算機に関する個人情報はパスワード設定による管理を行い、USBメモリー等の電磁媒体による個人情報管理は禁止としており、ノートパソコンは鍵のかかる場所に保管しました。
- ③コンピューターはLAN構築し、各端末機に立ち上げの際のパスワード設定を行い、安全管理しました。ウイルス対策等のWEB上での安全管理については、ウイルス対策ソフトを導入し、安全対策を行いました。また、インターネット接続の際はプロバイダーによるフィルタリングを行い、安全性を高めました。
- ④個人情報の送付は郵送を原則とし、請求書等の郵便物の封入は2人以上のチェックにて行いました。FAXによる場合はマスキングのうえ、2人以上の確認で送付しました。
- ⑤個人情報が記載されたファイル等の施設外持ち出しは、事前に上司の許可を得た場合以外は禁止しました。

(2) 情報公開について

- ①「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めました。
- ②本プラザに関しての情報公開として、「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」、「ケアプラザの管理に関する年度協定書」のほか下記のものをご提示、ファイリングして公開しました。また「利用者アンケート結果」についてもファイリングして常時掲出しました。

事業報告書	事業計画書	収支予算書
決算報告書	運営規定	契約書・重要事項説明書
所長へのご意見	倫理規程	第三者評価結果シート
個人情報保護に関する基本方針	組織図	個人情報保護に関する基本方針
特別避難場所の協力に関する協定		

- ④ 法人なでしこ会ホームページ上で法人の決算書の公開をしました。

キ 情報公開への取組について

本プラザにおいて情報開示の請求があった場合には、「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めました。

本プラザに関しての情報公開として、事業報告書、決算報告書、「利用者アンケート結果」等をファイリングして公開しました。また、事業所評価結果（自己評価）を施設入口に掲示しました。

さらに、本プラザ広報紙や区の広報、「ほっとなタウンマップ」ホームページ等を活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

ごみゼロルート回収を実施し、市役所ごみゼロのルールに基づいた適切な分別・リサイクルを職場全体に浸透、定着させるよう努めました。

また、保土ヶ谷区役所と協力して施設の緑化推進に取り組みました。具体的には、屋内外の植栽の維持管理等、環境保全にも協力するとともに、本ケアプラザ・コミュニティハウス2階光庭部分をウッドデッキ化し、地域のボランティアを活用したガーデニングスペースとして緑化を行いました。

「省エネ法」に基づく「管理標準」を策定し、適切なエネルギーマネジメントを目指しました。

裏紙使用の推進、適正な冷暖房設定、不要な照明の消灯等、管理経費の削減とともに地球温暖化防止にも配慮しました。

特に東日本大震災を受けた節電風潮も意識し、①不要スペースの消灯②事務機器の待機電力管理を実施しました。

介護保険事業

◆介護予防支援事業

職員体制	
管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	1名（常勤専従）

目標に対する取組状況
<p>要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成します。また、引き続き自立支援が図れるような目標設定をして介護予防プランの作成を行います。</p> <p>本年度は本ケアプラザで直接担当できる件数にも限りがある為、委託ケースを増やす方向で対応いたしました。</p>

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
自己負担なし（全額保険給付）

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>サービス対象地域：鎌谷町・峰沢町・岡沢町・常盤台・和田1～2丁目・峰岡3丁目・上星川1～3丁目・釜台町</p> <p>介護予防の相談は、保健師を中心として、主任介護支援専門員、社会福祉士が介護認定申請受付から認定後のサービスのケアプラン作成委託までをワンストップの窓口として機能します。</p> <p>介護認定に移行された場合のケアマネ同行訪問をできるだけ行う等、居宅介護支援事業者とのスムーズな連携に努めています。</p>

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	168	173	176	174	174
10月	11月	12月	1月	2月	3月
173	168	169	165	155	137

◆居宅介護支援事業

職員体制	
管理者	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	3名（常勤専従）

目標に対する取組状況
<p>居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。</p> <p>本年度は地域包括支援センターと連携し、新規ケース等について迅速な対応に努めました。</p>

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
自己負担なし（全額保険給付）

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>主任ケアマネジャーを配置し、特定事業所加算Ⅱを取得しています。</p> <p>毎週居宅介護支援会議を行い、担当ケースについての情報共有を図るとともに、研修も行って各ケアマネジャーのスキルアップに努めています。</p> <p>男性2名、女性1名のベテランケアマネジャーを配置し、利用者・ご家族の希望により男女の選択ができるようにしています。</p> <p>地域包括支援センターと連携して、独居・虐待等のいわゆる困難ケースの対応にも力を入れています。</p>

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
91	89	93	96	96	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
102	99	99	102	97	100

◆通所介護事業

提供したサービス内容
<input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> アクティビティ等 <input type="checkbox"/> 送迎

実費負担（徴収した項目ごとに記載）
<input type="checkbox"/> 1割負担分 (要介護1) 704 円 (要介護2) 831 円 (要介護3) 963 円 (要介護4) 1,095 円 (要介護5) 1,227 円 (入浴介助加算) 54 円 <input type="checkbox"/> 食費負担 800 円 <input type="checkbox"/> 紙おむつ代/枚 80 円 <input type="checkbox"/> 紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間
<input type="checkbox"/> 事業実施日数 週 6 日 <input type="checkbox"/> 提供時間 9 : 30 ~ 16 : 35

職員体制
管理者 1名（常勤兼務） 生活相談員 3名（常勤兼務） 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務） 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名） 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名） 送迎員 4名（非常勤兼務）

目標に対する取組状況
<p>ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体状況に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。</p> <p>平成27年度の延べ利用人数は、前年対比で（介護予防）通所介護は9%増（351名減）となりました。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
522	491	521	541	527	517
10月	11月	12月	1月	2月	3月
531	483	468	463	518	554

◆介護予防通所介護事業

提供したサービス内容

- 入浴
- 食事
- アクティビティ等
- 送迎

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766 円
 - （要支援2） 3,621 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間

- 事業実施日数 週 6 日
- 提供時間 9 : 30 ~ 16 : 35

職員体制

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤兼務）
- 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
- 送迎員 4名（非常勤兼務）

目標に対する取組状況

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状況に応じて、予防通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護とアクティビティを行います。
平成27年度の延べ利用人数は、前年対比で（介護予防）通所介護は9%増（351名減）となりました。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。
- ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
27	29	28	34	22	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	13	11	10	12	4

◆認知症対応型通所介護事業

提供したサービス内容
<input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> アクティビティ等 <input type="checkbox"/> 送迎

実費負担（徴収した項目ごとに記載）
<input type="checkbox"/> 1割負担分 (要介護1) 941 円 (要介護2) 1,042 円 (要介護3) 1,142 円 (要介護4) 1,244 円 (要介護5) 1,345 円 (入浴介助加算) 54 円 <input type="checkbox"/> 食費負担 800 円 <input type="checkbox"/> 紙おむつ代/枚 80 円 <input type="checkbox"/> 紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間
<input type="checkbox"/> 事業実施日数 週 6 日 <input type="checkbox"/> 提供時間 9 : 30 ~ 16 : 00

職員体制
管理者 1名（常勤兼務） 生活相談員 3名（常勤兼務） 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務） 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名） 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名） 送迎員 4名（非常勤兼務）

目標に対する取組状況
<p>ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。</p> <p>平成27年度の延べ利用人数は、前年対比で認知症対応型通所介護も8%減（218名減）となっております。利用回数の多いご利用者の利用中止が多かったことや、お泊りデイ等、他デイサービスへの変更が多かったこと等が理由と考えられます。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
111	104	99	93	85	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
92	98	97	91	112	112

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- 自治会町内会や食事会・サロンで認知症や介護保険の説明を実施してきた中で、利用者から民生委員→ケアプラザへ相談という流れが出来ており地域支援へつながっています。
- 小学校の社会見学の際に、ケアプラザの機能周知及び認知症サポーター養成講座を行いました。
- 各自治会、保土ヶ谷中学校、横浜国立大学に出張し、ケアプラザの機能周知及び認知症サポーター講座を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- 本年度も地域活動交流部門・地域包括支援センター合同会議において自主事業の企画・検討を行いました。
- 認知症サポーター養成講座や介護予防推進事業、また地域ケア会議等の場面で4職種連携に努めました。

3 職員体制・育成

- 法人全体での感染症予防委員会を継続実施しました。
- 調理部門で感染症対策研修を実施しました。
- 個人別の研修計画に沿って研修を受講し、振り返りを行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- エリア内4連合地区の定例会に出席し、各地域の自治会長・民生委員他の方々と積極的な意思疎通に努めました。
- 常盤台地区においては、ワークショップを契機とした『地域支えあいマップ作り』説明会（連合町内会主催）開催の支援をいたしました（全3回）。
- 個別地域ケア会議及び包括エリア地域ケア会議を開催しました。
- 多職種連携会議を開催し、医療・介護の連携に努めました。

5 区行政との協働

- エリア内4地区それぞれにおいて第Ⅲ期福祉保健計画（ほっとなまちづくり）地区別計画策定に向けた懇談会を開催しました。ケアプラザとして細かな地域情報の提供を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 常盤台連合町内会のホームページにときわの森広報紙を大きく見やすく掲載しました。
- 自主グループ活動団体の活動内容を情報ラウンジに掲示しました。
- 高齢者の集まりやすい歌声サロンなど、開催時に関連している様々な情報を配布しています。その結果、ケアプラザには常に人が集まり、地域の交流の場としての機能を果たしている事を実感しています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 自主グループ活動の内容を詳しく掲載すると同時に貸室の利用方法なども掲示した事で、窓口にお問い合わせに来られる方や実際、新規登録をされるボランティア団体や新たな体操教室の地域の自主活動団体登録が増加しました。
- 又日々のサブコーディネーターの業務の中で、貸室申込みの際のダブルチェックを行っているため、受付時の苦情などは特にありません。
- 貸室の空状況を情報ラウンジに掲示して、更に利用しやすく工夫しています。

3 自主企画事業

- 『ジャズダンス』と『ヨーガ教室』を自主グループ化しました。その他の団体にも自主化を目標とした活動を団体登録交流会での情報としてお伝えしました。
- 『音と音楽で遊ぼう』の参加者も増加傾向です。参加者と講師と職員とのコミュニケーションが図れています。
- 今後とも障がいを持っている子どもと親の居場所として継続していきます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア活動が出来る場所として具体的な内容を示したことで子育て広場プールでの国大生のボランティアや、各種イベントでの小学生ボランティアや自主グループからの積極的な協力を得ることができています。
- ボランティアの方々と一緒に利用者発表会などのイベントを一緒に盛り立てています。
- 園芸ボランティアにおいてはケアプラザにとどまらず、地域での祭りに協力するなど、活動の幅は確実に広がっています。
- デイサービスでボランティアによる季節ごとの定期的な演奏会が定着してきました。
- 子どもボランティアとデイサービス利用者と交流することで、少しずつ高齢者と認知症などについて理解できるきっかけとなっています。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- 総合相談の情報を包括内で共有し、各専門職の意見を共有し、より良い支援へとつなげました。
- 総合相談初回の情報を基に統計を取り、地域診断に役立てました。
次年度は、より一層正確な情報の統計としていく為、情報収集方法について検討します。（初回情報に加え、経過の追情報も収集し、より一層、実態に則したものにすることを検討中です。）
- 総合相談の情報を元に地域の課題を整理し、今年度、3回の個別地域ケア会議と2回の包括圏域地域ケア会議を開催しました。
- 第3回の個別地域ケア会議は、権利擁護を課題とし、弁護士の先生にご参加頂き、ご意見をいただきました。介護・医療以外の専門家からの意見は大変参考になり、今後、他事例にも応用していく魁となりました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 認知症ネットワーク SOS
 - ・周知ツールとしてリーフレットを作成しました。
 - ・運用手順を再検討し、事前登録制にするなど、より利用しやすいものにしました。
- ピーポーワン
 - ・認知症見守りを、地域の愛犬家の方々をお願いする仕組み作りを実践しました。
 - ・事業本来の目的である、「高齢者の見守り」以外にも、参加メンバーとケアプラザ職員が路上で日常的に交流ができる、メンバーの周囲へも認知症への意識が広がるなど新たな形の、ネットワーク構築に成功しました。
- 認知症オレンジカフェ開催
 - ・地域の施設4箇所と協働しオレンジカフェ事業を立ち上げました。
 - ・第1回として、12月に実施、高齢者、ご家族、ケアマネジャー医師、地域ボランティアなど、40名以上の参加がありました。
 - ・認知症の方の役割を担える場所、家族の相談、楽しい居場所として、好評でした。
 - ・今後、4施設を巡り開催します。
- 認知症キャラバンメイト連絡会
 - ・「ときメイト」として、圏域のメイトさん17名（一般の方、病院看護師、管理薬剤師、民生委員ケアマネジャー等）で連絡会を結成しました。
 - ・認知症サポーター養成講座開催協力等、地域の認知症関連の事業に協力いただいています。
- 多職種連携会議
 - ・7月に、隣接2包括合同で開催。
 - ・圏域内の病院、訪問診療、訪問看護の全て、多くの診療所、薬局等とケアマネジャー他福祉事業者が多数参集しました。
 - ・「参考になった」「今後も継続開催希望」等、意見を多数いただき、今後の連携に役立つものとなりました。
 - ・2月には、保土ヶ谷区全体の多職種連携会議を予定しています。
- 地域との連携
 - ・老人会、会食会等へは4連町漏れ無く出席し、また、積極的に出張講座を開催しました。
 - ・個別地域ケア会議開催から、その地域での講座開催の必要を見出し、開催につなげるなど、種々の機会を利用し、地域連携の機会を作りました。

<ul style="list-style-type: none"> ・きらりシニア塾の他にも多くの体操教室の企画運営に参加し、地域によっては、隣接区との共同開催もいたしました。 ○地域包括ケアの広報 <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会、事例検討会、地域の集まり等を利用し、説明、協力を求めました。 ・地域ケア会議開催の際、民生委員はじめ地域の方々も積極的に参加いただけるようになりました。 ○ひとり暮らし高齢者の実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域で見守り推進事業」を通し区役所、民生委員、地域と連携し見守り、必要な対処をしました。 ○他分野の専門職との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議に、医療の専門職の他、弁護士に参加していただき意見をいただきました。 ・事例検討会等に他の専門職（看護師、薬剤師、音楽療法士、補聴器メーカー、フィナンシャルアドバイザー等）をお呼びし、知識を得ると共に連携を構築しました。 ○主任ケアマネジャーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアを担う一員として居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの連絡会を保土ヶ谷区内包括共同で立ち上げました。
--

<p>実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統計・分析に利用する情報が相談初回のものを使用した為、実態の把握が不十分でした。今後、情報元をどのように設定するか、再考してゆきたいと思えます。 ○整理された情報というより、個々の情報を職員間で共有し地域の実態把握を広く厚みのあるものにしました。 ○事例相談、同行訪問などケアマネジャーが相談しやすい環境作りをし、情報の共有を図る他、ケアマネジャーに対し、地域ケアの概念を周知し、情報提供を依頼しました。 ○多職種連携会議、地域ケア会議、地区社協運営会議、SOS 協力機関、サポーター養成講座、国大ワークショップ等に於いて情報提供を依頼しました。 ○各自治会の老人会や会食会、体操教室等の地域活動へ参加し、情報交換、地域課題の把握を図りました。 ○出張講座やケアマネ連絡会を通じ、地域の課題や情報を交換しました。 ○民生委員と密な連携を構築し、随時発生する事案に対し、個別相談、同行訪問により、実態把握しました。 ○ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握しました。 ○マップの情報を随時更新しました。

2 権利擁護

<p>権利擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> ○終活講座を連続で2回開催致しました（1回目は「相続・遺言」2回目は「消費者被害回避術」）連続講座で地域の方に加えて支援事業所のケアマネージャーへ周知し参加がありました。実際に講座を受けられた後に遺言を作成された方がいらっしゃいます。講座終了後、来年度同じ内容で講座を受けたいという希望がありました。 ○成年後見講座の「イロハ」として基本から学ぶことが出来るように、区社協・市社協と連携し、地域の方・事業所など対象者を広げて広報し2月に講座を開催予定です。
--

高齢者虐待

○保土ヶ谷区ケアマネ連絡会と地域包括支援センター協働企画で行政書士を招き「虐待研修」を開催。多くの事業所の参加がありました。虐待として報告するポイントを学ぶと共に、関係法令と具体的な事例の詳細を通じてリスクマネジメントを学びました。

認知症

○サポーター養成講座を小・中・高・大学とそれぞれの年代に合わせて開催することが出来ました。特に保土ヶ谷中学校は新規開催で、3年生の生徒全員を対象に認知症への理解についてアピールする予定です（平成28年3月開催予定）。

○認知症高齢者見守り事業「ピーポーワン」は秋より事業開始、平成28年1月現在26組、40頭登録されています。今後も近隣の公園やケアプラザ前などでボランティア登録を呼びかけていきます。

○認知症カフェ「オレンジカフェ」は12月に初回開催、40名ほどの参加者がありました。今年度末に「スープカフェ」を開催予定です。

来年度は「レコードカフェ」「桜カフェ」等地域で多くの施設に協力を仰ぎ認知症カフェを展開していく予定です

○「オレンジ・ボラ」事業では「オレンジカフェ」とコラボレーションしました。認知症の方が多くの場で活躍できるよう登録を呼びかけて次回の企画を検討します。

○常盤台地区の認知症サポーターのメイトへ「ときメイト」とネーミングし、今後はメイトが自主的に定例会など企画できるよう後方支援いたします。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

○地域活動交流と連携を取りながら各地域の老人会、サロン、体操教室等に出向き、チェックリストを実施し、二次予防事業対象者の把握を行いケアプラザの事業、家から近い体操教室、きらりシニア塾等紹介し、繋がるように継続的に支援をしました。

○地域交流、コミュニティーハウス、共催自業等参加者の把握をし、継続的に支援をしました。又希望者には個別に支援を行いました。

介護予防ケアマネジメント力

○介護予防の視点をもったケアマネジャーの育成を徐々に実施しています。

○毎月、事例検討会を開催し、ケアマネジャーのプラン作成支援、事例対応能力の向上を図りました。

○隔月で、専門職のセミナーを企画しケアプラン作成支援としました。

○介護予防スクエアステップ等をケアマネジャーが体験し、体力向上を踏まえたケアマネジメントの重要性を実感していただく場を提供しました。

○実際の予防成功事例をケアマネジャーにフィードバックし、プラン作成の支援をしました。

○新任ケアマネジャー対象の研修を行いました。横浜市の横出しサービス等の座学、各種施設見学、個別の実地同行支援、横浜市福祉機器センターの研修を実施しました。

○ケアマネジャーからの個別相談に対し、ケアプラン作成支援、困難事例支援、家族調整、他機関との調整、同行訪問、担当者会議出席などの対応をしました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域ケア会議の周知
 - ・厚労省作成の《地域ケア会議のしくみの図》を簡略化し、地域住民に対しても分かりやすいツールを作成し、広報に役立てました。
 - ・地域ケア会議（個別3回、包括圏域2回）、地区社協連絡会、ケアマネ連絡会、事例検討会、体操教室、食事会等の場を利用し広報しました。
- 民生委員との連携
 - ・日頃の協力関係から、年間を通し迅速、密な『情報提供⇄支援』を実施しました。
- 地域課題の把握
 - ・相談票の統計、地域ケア会議からの課題抽出、民生委員さんからの直接情報により、地域の課題を把握しました。
 - ・個別対応、地域包括ケアへの情報として取り組みました。
- その他の広報・連携
 - ・3月にケアマネジャーと民生委員の交流会を予定しています。
 - ・各自治会、食事会、老人会のサロン等を利用し、出張講座を開催し介護保険制度、ケアマネジャーの役割等を説明しました。

医療・介護の連携推進支援

- 多職種連携会議
 - ・星川地域ケアプラザと共催で多職種連携会議を開催しました。
 - ・医師、病院連携室、ケアマネジャー、各サービス事業者等が出席し、情報交換、共通の課題抽出と検討、とネットワーク構築を行いました。
 - ・各々顔の見える関係になり、連携スムーズに行えるようになりました。
- 事例検討会
 - ・訪問薬局、訪問看護、医療マッサージなど専門職を招き、連携構築の場を提供しました。
- 地域ケア会議
 - ・医師、訪問看護師、病院連携室、訪問薬局等を招き検討に参加していただくと共に、連携構築の場としました。
- ケアマネ連絡会
 - ・訪問看護を招き、特に医療支援の重要な事例の検討を行いました。
 - ・行政書士を招き、虐待等の支援方法と連携方法を学びました。
- 個別訪問
 - ・地域の開業医院、中核病院、歯科医院、調剤薬局を訪問し、個別の支援依頼、情報交換と共に地域包括ケアの協力依頼をしました。
- 個々のケース対応
 - ・主治医、地域連携室、退院調整看護師、訪問看護と連携しました。

ケアマネジャー支援

- ケアマネジメント力の向上
 - ・ケアマネ連絡会を毎月開催し、情報提供、学習、他方面との連携構築の機会を提供しました。
 - ・事例検討会を毎月開催し、相談ケースの対策を多数相互学習する形で、ケアマネジメント力の向上を支援しました。
 - ・事例検討会に於いて多職種の講師から学ぶ場を提供しました。
 - ・介護予防の再認識を働きかけました。
- 困難時の対処能力向上

- ・事例検討会を毎月開催し、困難事例の対応方法を学ぶ場を提供しました。
- 個別相談（困難事例を含む）
 - ・日頃から居宅介護支援事業所を訪門して情報提供するとともに、相談しやすい環境を作りました。
 - ・電話、面接相談、同行訪問、サービス担当者会議開催支援、地域ケア会議開催により対応、継続支援、情報提供等を実施しました。
 - ・自分で対処できる能力を養う機会となるように働きかけました。
 - ・ケアマネジャーのメンタル支援を連絡会に於いて実施すると共に、随時相談対応しました。
- 連携の支援
 - ・民生委員と連絡会を開催し、地域包括ケアを協働することができる様働きかけます（3月開催）
 - ・区役所（高齢・障害）、社協（ボランティア、消費者センター等）、民生委員、地域資源、医療機関等多職種との仲介を支援しました。
 - ・支援困難事例、緊急対応が必要な際、区役所、民生委員、精神科医、その他医療機関等関係機関、警察署と連携し問題解決へ導けるよう支援しました。
- 新任ケアマネジャー研修
 - ・横浜市の横出しサービス等の座学、各種施設見学、個別の実地同行支援、横浜市福祉機器センターの研修を行いました。
- ほ도가やケアマネット支援
 - ・区内ケアマネジャー連絡会である ほ도가やケアマネットの幹事として、研修開催を支援しました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 生活圏域での多職種連携構築を目指しました。
- 多職種連携会議を生活圏域（星川・常盤台地域包括圏域）で実施し身近なネットワーク作りをしました。
- ケアマネジャーのケアプラン支援に於いて、適宜他職種の担当者を紹介し、関係構築を支援しました。
- 事例検討会（隔月開催）のゲスト、地域ケア会議の参加者として多職種の方々を招き、互いの関係構築を支援しました。

介護予防事業

介護予防事業

- 今年度もスクエアステップ・リーダー養成講座を開催し、新たに12名のリーダーが誕生しました。（地域診断で課題のある地区）各地区でのサロンや体操教室で活動を始めました。現在継続的に出来るよう、支援を行っています。
- きらりシニア塾は、区の担当保健師と連携をして新たに3グループ立ち上がりました。新たに1箇所、立ち上げに向け支援をしています。
- 区内合同ノルディック大会を開催しました。
- 既存のノルディックウォーキンググループ（きらりシニア塾）に対しフォローアップ研修会を2回（4月・10月）講師を招き行いました。
- 横浜国大、コミュニティハウスと連携を取り講座を開催いたしました。
- 前年度と同様にスクエアステップ・リーダー、フォローアップ・スキルアップ研修・連絡会を講師を招き、3月14日に開催を予定しています。
- 既存の体操グループに対し、ネットワーク構築のため交流会・連絡会を3月1日に開催を予定しています。
（研究部会で作成したアイスブレイク集の活用について）

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予 防 通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	15,088	23,641	149	0	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	0	4,788	19,885	58,394	1,315	15,146
	その他	0	0	0	6	442	8,122		980
	自主事業参加費	0	0	0	0	0	0		0
	雑収入	0	0	0	6	1	508		1
	認定調査委託料	0	0	0	0	441	0		0
	利用者負担金	0	0	0	0	0	5,101		937
	経常経費寄付金	0	0	0	0	0	5		0
	利息配当金	0	0	0	0	0	18		0
	社福軽減補助金	0	0	0	0	0	0		42
	借入金元金償還補助	0	0	0	0	0	2,250		0
借入金利息補助	0	0	0	0	0	240		0	
収入合計(A)	15,088	23,641	149	4,794	20,327	67,831		16,126	
支出	人件費	10,747	19,324	0	1,289	18,014	38,494		14,972
	事務費	1,335	2,976	0	303	777	1,194		426
	事業費	422	280	153	0	0	4,551		1,630
	管理費	1,911	508	0	397	1,327	8,352		3,250
	その他	1,177	609	0	0	33	9,324		111
	消費税	860	0	0	0	33	0		0
	指定管理料戻入額	317	609	0	0	0	0		0
	借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	3,000		0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	92		111
	修繕費積立金	0	0	0	0	0	1,000		0
	借入金利息						240		0
拠点区分間繰入	0	0	0	0	0	4,992		0	
支出合計(B)	15,592	23,697	153	1,989	20,151	61,915		20,389	
収支 (A) - (B)	-504	-56	-4	2,805	176	5,916		-4,263	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ときわの森 子育て広場	親子	42,507	0	10,400	30,046	6,025	6,436
	253名						
	100円						
ときわの森 ヨーガ教室	成人・高齢者	17,824	0	10,000	16,704	0	1,120
	52名						
	200円						
ときわの森 らくらくストレッチ 体操教室	成人・高齢者	72,941	0	38,000	66,820	432	5,689
	200名						
	200円						
囲碁教室	成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	160名						
	0円						
ときわの森 レッツトライステッ プエアロ	成人・高齢者	120,336	0	49,200	106,896	0	13,440
	188名						
	300円						
ときわの森 ときもり倶楽部	高齢者	16,484	0	0	0	8,770	7,714
	484名						
	0円						
ときわの森 お華の教室	成人・高齢者	13,364	0	5,400	13,364	0	0
	38名						
	200円						
和菓子&パン教室	成人・高齢者	47,711	0	17,800	33,410	12,621	1,680
	37名						
	500円、700円						
親子で作るハンバーガー教室	成人・親子	9,505	0	2,100	6,682	2,263	560
	9名(3組)						
	700円						
歌声サロン	成人・高齢者	53,525	0	59,700	36,751	15,774	1,000
	608名						
	100円						
ノルディックウォーキング	成人・高齢者	27,440	0	9,200	0	0	27,440
	493名						
	100円						
ノルディックウォーキング大会 in新横浜	成人・高齢者	16,120	0	0	15,000	0	1,120
	33名						
	0円						

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
合同ノルディックウォーキング	成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	96名						
	0円						
認知症サポーター養成講座	小中高生・成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	563名						
	0円						
介護者のつどい	介護者	100	0	0	0	0	100
	48名						
	0円						
ときわカフェ	成人・高齢者	22,850	0	19,550	0	14,850	8,000
	449名						
	50円						
園芸ボランティア活動	成人	11,643	0	0	0	9,845	1,798
	88名						
	0円						
音と音楽で遊ぼう	障害児	131,050	0	0	122,507	1,620	6,923
	100名						
	0円						
ヘルキー秋フェスタ	地域	80,539	0	70,725		80,539	0
	400名						
	物販として						
ヘルキー秋フェスタ(介護予防ブース)	高齢者	16,704	0	0	16,704	0	0
	38名						
	0円						
ワークショップ	地域	0	0	0	0	0	0
	46名						
	0円						
ときわの森 七タコンサート	地域	40,395	0	8,750	0	40,395	0
	250名						
	物販として						
幼児のための短期救急法	成人	4,895	0	1,000	4,500	0	395
	10名						
	100円						
ときわの森 子育て広場「プール」	親子	7,076	0	0	0	0	7,076
	63名						
	0円						
ニコニコママの子育てコーチ ング	親子	0	0	0	0	0	0
	54名						
	0円						

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ほっとフレンズ・2015夏	障害児	0	0	0	0	0	0
	37名						
	0円						
ほっとフレンズ・2016春	障害児	0	0	0	0	0	0
	71名						
	0円						
もうすぐクリスマス「マリーンシャトルに乗ろう」	障害児	884	0	0	0	884	0
	21名						
	0円						
貯筋運動	成人・高齢者	12,320	0	0	0	0	12,320
	192名						
	0円						
保土ヶ谷区民まつりの参加「地域活動交流ブース」	子供・成人・高齢者	394	0	0	0	394	0
	350名						
	0円						
保土ヶ谷区民まつりの参加「介護予防ブース」	成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	200名						
	0円						
国大生と歩こうウォーキング講座	成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	190名						
	0円						
秋の利用者発表会	子供・成人・高齢者	43,925	0	37,440	0	43,925	0
	200名						
	物販として						
親子で楽しむクリスマス人形劇	親子	7,226	0	1,200	5,568	1,658	0
	32名						
	100円						
第7回桜まつり	地域	41,967	0	106,088	0	41,967	0
	550名						
	物販として						
ときわの森ハハトコ広場	親子	4,863	0	0	0	0	4,863
	46名						
	0円						
中学生のための楽しいボランティア講座	中学生	639	0	0	0	0	639
	1名						
	0円						
救急法基礎講習&救急員養成講習	成人	35,950	0	35,200	0	35,200	750
	42名						
	3200円						

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
留学生から学ぶ初級韓国語講座	成人	51,221	0	18,200	51,221	0	0
	115名						
	200円						
登録利用団体交流会	成人	21,592	0	0	5,568	16,024	0
	26名						
	0円						
スクエアステップでエクササイズ	成人・高齢者	6,160	0	0	0	0	6,160
	195名						
	0円						
スポーツ吹き矢	成人・高齢者	6,550	0	17,050	0	6,550	0
	361名						
	50円						
成年後見制度&相談会	成人・高齢者	138	0	0	0	0	138
	16名						
	0円						
終活講座	成人・高齢者	138	0	0	0	0	138
	31名						
	0円						
地域活動グループ連絡会	成人・高齢者	28,938	0	0	16,705	12,233	0
	21名						
	0円						
スクエアステップリーダー研修	成人・高齢者	105,797	0	33,880	27,000	72,220	6,577
	41名						
	3080円						
スクエアステップスキルアップ研修会・連絡会	成人・高齢者	17,162	0	0	15,000	0	2,162
	18名						
	0円						
社交ダンス	成人・高齢者	2,000	0	0	2,000	0	0
	15名						
	0円						
プチサロン	成人・高齢者	9,433	0	3,400	0	9,433	0
	26名						
	100円						
合計		1,150,306	0	554,283	592,446	433,622	124,238

平成27年度 自主事業報告書

横浜市常盤台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 子育て広場	<p>目的：親子のふれあいの場と親子同士の交流の場を目的とする。</p> <p>内容：読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ会及び下記に内容で開催</p> <p>(4月) 緑川先生と親子体操 (5月) おはなし会と工作 (6月) リズム遊び・手作りおやつ試食会 (7月) 野菜スタンプ (9月) おはなし会とミニ運動会 (10月) 緑川先生と親子体操 (11月) おはなし会とお医者様のお話 (1月) リズム遊び (2月) おはなし会とおひなさま作り (3月) 幼児安全法</p>	<p>平成27年4月～平成28年3月 毎月1回 原則第4木曜日 計9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ヨーガ教室	<p>目的：成人・高齢者を対象として基本的なヨーガを行う事で健康維持・増進を図る。</p> <p>内容：呼吸法を組み合わせたヨーガの基本を無理なくゆっくりと行っていく。</p>	<p>平成27年4月 原則第1・3金曜日 計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	<p>目的：高齢者を対象とした転倒予防などを目的とした体操教室。</p> <p>内容：椅子を使用して無理なくストレッチと体操をする。</p>	<p>平成27年4月～平成28年3月 毎月1回 原則月末 計10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁教室	<p>目的：地域住民の囲碁を通して交流を図り、日本の伝統文化を地域に伝承していく。</p> <p>内容：誰もが親しめるよう日曜日にボランティアとして講師を招き行う囲碁教室。</p>	<p>平成27年4月～平成28年3月 毎月2回 原則第2・4日曜日 計23回</p>

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 レッツトライス テップエアロ	目的：中高年、子育て中の母親など、日頃の運動不足解消。 内容：規定のステップ台を使用して行うエアロビクス。中高年を対象にし、音楽に合わせて身体を動かすことで、ストレス解消や心身ともに健康になるため若い時からの介護予防を目的とする。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月2回 原則第1・3水曜日 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ときもり倶楽部	目的：地域のボランティアが中心となって、近隣の高齢者に声をかけケアプラザに集まることで、引きこもり予防や認知症予防・介護予防につながっていく。 内容：はまちゃん体操・脳トレーニング・カラオケ・茶話会折り紙教室など行う。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月4～5回 毎週水曜日 計51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 お華の教室	目的：伝統の生け花を学ぶことで心身を落ち着かせていき参加者同士の交流も生まれる。 内容：草月流を基本とした生け花を学ぶ。花を通じて園芸ボランティア活動の参加にもつながっている。	平成27年4月～ 平成27年6月 毎月1回 原則第 2木曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和菓子&パン教室	目的：地域住民が気軽に参加することで各種イベントでの積極的なボランティア活動につなげていく 内容：身近な素材で季節の和菓子やパンは生地から作成していく。	平成27年4月6 月8月10月12 月平成28年2月 原則偶数月1回 計5回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で作るハンバーガー教室	目的：夏休みの企画として親子や祖母と孫などで参加してもらいながら交流を図る。 内容：本格的なハンバーガーとパンを作り親子で楽しみながら作成し試食もする。	平成27年8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン	目的：地域住民が歌う事を楽しみにし声を出すことで脳の活性化につながる。又、歌を通じて集うことで引きこもり予防も図る。 内容：ピアノの伴奏にあわせて、なつかしい歌をみんなで歌う。四季に応じて選曲した歌詞カードを用意し、季節感を楽しんでいただく。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月1回 原則第1火曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング	目的：ウォーキングをするという同じ目的で地域住民のコミュニケーションを図る。 内容：ノルディックポールを使用する事で、足腰の負担が軽減されるとともに、上半身も含めた全身運動ができる新しい形のウォーキング。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月4～5回 毎週火曜日 計42回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同ノルディックウォーキング	目的：ウォーキングをするという同じ目的で地域住民のコミュニケーションを図る。 内容：ノルディックポールを使用する事で、足腰の負担が軽減されるとともに、上半身も含めた全身運動ができる新しい形のウォーキング。新横浜ラポール周辺を他エリアの参加者と合同で歩いた。	平成27年10月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症を正しく理解する事で、認知症の方々へのサポーターを増やす。 内容：各地域の自治会・ケアプラザの参加者・地域住民に向けて認知症の理解を深める講座を開催する。 保土ケ谷中学校・横浜国立大学・常盤台小学校の生徒向けに開催。	平成27年 6月1回 7月2回 10月2回 平成28年 1月1回 3月1回 計 7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護されている方々の心のケアと情報交換などを行う交流会。 内容：原則隔月で開催。デイサービスの見学会・意見交換会・介護者のためのビューティ教室などを実施した。	平成27年5月6月7月9月11月 平成28年1月3月、年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわカフェ	目的：多目的ホールを活用し、気軽に立ち寄れる地域の交流スペースとして開放することを目的とする。 内容：民生委員とボランティアが協力して、手作りケーキ付きでコーヒーやお茶を100円で提供する。障がい者施設による手作りパンの販売も行う。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月1回 原則第4金曜日 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティア活動	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共用部分の庭などの整備をボランティア中心で活動し、交流を深めていく。 内容：季節の花植え・野菜の栽培などを定期的に行ってもらう。 桜まつり・ヘルキー秋まつりなどでは寄せ植え販売で参加した。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月1回 原則第3月曜日 年10回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音と音楽で遊ぼう	目的：障がい児の余暇支援（放課後支援）。 内容：特別支援教育士のもと打楽器・ピアノなどを活用して音楽を通じて発達に片寄りのある子どもを対象に特別支援感覚の統合・調整を行う。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月1回 原則第1木曜日 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルキー秋フェスタ	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共催イベント。地域住民にの交流の場として、又子供から大人まで多くのボランティアが関わっていくことで地域とのつながりを目指すとしている。 内容：保土ヶ谷中学吹奏楽演奏・各種手作り品販売・ときわカフェの開催・福祉用具の展示と体験など。	平成27年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルキー秋フェスタ（介護予防ブース）	目的：イベント開催時の高齢者を対象とした介護予防地域住民にの交流の場として、又子供から大人まで多くのボランティアが関わっていくことで地域とのつながりを目指すとしている。 内容：口腔ケア・ロコモ運動を行った。	平成27年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワークショップ	目的：老後も住み続けられるまちづくりをテーマにした地域住民によるワークショップ。 内容：横浜国立大学建築計画研究室の学生と一緒にテーマに沿って地域づくりを考えていく。	平成27年7月10月 平成28年12月、年2回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 七夕コンサート	目的：地域の方々に近隣の大学生と小学生の吹奏楽を楽しんでもらう事で地域の活性化を図る。 内容：横浜国立大学吹奏学団と常盤台小学校のマーチングバンドの演奏会の開催（7月）。	平成27年7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児のための短期救急法	目的：夏休みを控え、起こりやす事故に対処できるよう知識と技術を身につける事を目的とする。 内容：日本赤十字社の開催している幼児安全法を基本に救急法で止血法などを学ぶ。	平成28年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 子育て広場 『プール』	目的：8月の子育て広場を活用して未就園児を対象でプール遊びで交流を図る。 内容：ビニールプールを利用して、外庭で夏の午前中の一時をみんなで楽しむ。高校生・大学生ボランティアと子どもたちが一緒に交流できる。	平成27年8月 毎週木曜日 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ・2015	目的：障がいを持っている子どもとボランティアとの交流の場、障がいに対する理解を深めてもらうことを目的とする。 内容：レクリエーションでなつ・はる祭りとして模擬店を中心に展開していく。 同時にボランティア事前研修、事前説明会も実施。	平成27年8月 28年3月 年4回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貯筋運動教室	目的：寝たきり予防を目的とした運動教室。 内容：鹿屋大学が考案したニア用で自宅で毎日できるような簡単な動きを取り入れ主に足腰の筋肉を鍛えられる運動を毎週1回継続して行う。	平成27年4月～ 28年3月第1・ 3木曜日 年20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ヶ谷区民 まっりの参加 「地域活動交流 ブース」	目的：区民が多数来場する「保土ヶ谷区民まつり」の区内全ケアプラザ担当職員参加する事で、地域住民にとってケアプラザが身近で気軽に立ち寄れる場所である事を周知するための参加。 内容：パネル展示・来場者に保土ヶ谷やケアプラザ情報を周知できる内容での企画を計画して開催する。	平成27年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
国大生と歩こう ウォーキング講座	目的：横浜国立大学と地域住民との交流。 内容：横浜国立大学の講師と生徒を招き、地域住民と近隣を歩く。基本のウォーキングを学びながら交流を図る。	平成27年4月～ 平成28年3月 毎月1回 原則第4木曜日 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の利用者発表会	目的：団体登録をしている方々の成果発表会。 内容：歌や演奏、ダンス、作品展示等を一日かけて行う。利用団体の日頃の努力の成果をお互いに披露しあう。	平成27年11月 年1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむ クリスマス人形劇	目的：日曜日に親子同士で楽しいひと時を人形劇を通じて交流を図る。 内容：クリスマス人形劇の開催。	平成26年12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第7回桜まつり	目的：ケアプラザとコミュニティハウスの共催イベント。地域住民に楽しんでいただくとともにケアプラザ・コミュニティハウスに関心を持っていただく機会の提供。 内容：バザーの開催。 ・キッズフリーマーケット。 ・ボランティアと職員の共同作業による手作りちらし寿司・焼きそば・桜もちなどの販売。 ・園芸ボランティアによる花販売。 ・近隣農園の方による野菜販売。 ・民生員によるときわカフェの開催。	平成28年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ハハトコ広場	目的：テーマを決めずに広い多目的ホールを親子のために開放し親子同士の交流を図る。又比較的空いている土曜日の午前中の有効活用も図る。 内容：絵本や積み木・おもちゃ、ねんど・折り紙等で自由に遊んでもらう。	平成27年4月5月 6月8月9月平成 28年3月 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコママの 子育てコーチング	目的：思考のトレーニングを行うことで、子育てが気持ちから楽になるようにする 内容：子育てコーチングの講師ボランティアを招き、親子参加で会話をしていく。	平成27年9月・ 11月平成28年 3月 年3回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中学生のための楽しいボランティア講座	目的：近隣の中学生を対象にボランティアに関心もってもらうための講座。 内容：ボランティアについてと認知症についての理解の話しを行う。デイサービスでのレクリエーション体験。	平成28年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法基礎講習 &救急員養成講習	目的：赤十字救急法を学びいざという時の対処を身につける。 内容：三日間で心肺蘇生法・AEDの使用方法・傷の手当て・三角布の使用方法・救急搬送・担架搬送などを学ぶ。	平成28年1月 (3回) 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ初級韓国語講座	目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。 内容：基本的な単語・文法・会話などを楽しく学ぶ。	平成27年4月～ 平成28年3月毎月第1・3火曜 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップでエクササイズ	目的：地域の自治会サロンなどの活動している民生委員ボランティアの方々に習得したリーダーを中心として地域の高齢者などを対象にして介護予防・認知症予防を目的とした活動を担ってもらう。 内容：筑波大学の講師が開発したマットを活用し変則的なステップを踏んでいくことで、脳手レーニングと運動を一緒に行う。	平成27年4月 5月・6月・7月 10月・11月 12月 平成28年1月・ 2月 年9回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹き矢	目的：年齢を問わずに誰でもでき、腹式呼吸をベースに精神力や集中力・血行促進と細胞の活性化など健康増進効果を目的としている。 内容：専用の危険のない矢を用いて的に当てるというスポーツ吹き矢。講師をボランティアで招いて、地域住民に向けて開催。	平成27年4月～平成28年3月 毎月2回 原則第2・4水曜日 年20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見制度&相談会	目的：権利擁護を基にした老い支度に関するテーマで地域住民に包括支援センターの周知と権利擁護への認識を高めてもらうため。 内容：司法書士を招いて、遺言相続、年金や老後のお金に関するの講演。	平成28年2月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活講座	目的：権利擁護を基にした老い支度に関するテーマで地域住民に包括支援センターの周知と権利擁護への認識を高めてもらうため。 内容：司法書士を招いて、任意後見制度と相続税に関するの講演。	平成27年10月11月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動グループ連絡会	目的：地域のサロン・キラリシニア塾で活動されているボランティアリーダーに向けての連絡会。 内容：シナプソロジーの基礎を講師を招いて学んだ。	平成28年3月1日、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップリーダー研修	目的：地域住民の健康作り・認知症予防のためを目的とする。 内容：スクエアステップリーダーに向けたスキルアップ研修。	平成27年9月4回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ スキルアップ研修 会・連絡会	目的：健康作り運動ネットワーク構築を目的とし、リーダー同志の交流を図り今後に生かす。 内容：筑波大学から講師を招き、スクエアステップリーダーのスキルアップとして学ぶ。	平成27年10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス	目的：ステップで脳を使い運動と一緒にやる事で、介護予防につながる。 内容：社交ダンスの初歩を講師を招いて行う。	平成27年11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プチサロン	目的：高齢者を中心とした、認知症予防・介護予防。 内容：手先を使ったビーズの小物や編み物などを皆で一緒に作成する。	平成27年11月 平成28年2月3 月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディック ウォーキング 大会 in 新横浜	目的：地域の高齢者がいつまでも元気に過ごせるような介護予防としての取り組み。 内容：日産スタジアム周辺をノルディックポールを使ってウォーキングを行う。	平成27年4月1 0月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録利用団体 交流会	目的：ケアプラザを利用している登録利用団体同士の交流及び情報交換を目的とする。 内容：ケアプラザの利用方法の再確認、意見交換会、昼食会、ボランティアによるアコーディオン演奏会など。	平成27年6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もうすぐクリスマス「マリーンシャトルに乗ろう」	目的：学齢障害児余暇活動の事業。親子で安心して外出できる余暇活動を企画した。 内容：学齢障害児フレンドサポートを活用して、横浜市振興協会で行っているマリーンシャトルに乗船する。乗船前の中華街で昼食を皆でとって交流を図った。	平成27年12月 1回